



深山たかし

発行元：深山たかし後援会
 上尾市大字上1774-7
 048(776)0575
 fukayama-sov@com.home.ne.jp
 ホームページは検索サイト
 ”深山たかし”で閲覧できます。

議会レポート

基盤整備と安全対策

上郷地区の 東西横断道路

ヨークマート桶川店東側の「一本橋」から箕の木住宅東側につながる道路で、幅員八メートルから十四、二メートルの道路。

この道路は、桶川駅方向から榮太郎さん付近までは両側に歩道が整備されていますが、それより東方面は歩道も片側になっていません。伊奈町や桶川市を結ぶ幹線道路のため交通量が多く、急なS字カーブもあることから、過去に重大事故も発生しています。ベンガラ塗装や、路面標示で注意喚起されていますが、スピード



急カーブのある道路（上郷地区）

を出して通過する車が多いのも事実です。質問の結果、さらなる拡幅事業は難しいとの事ですが、当局も現状を認識し、現状の幅員の中で、地元の皆様意向を確認しながら歩行者の安全確保と生活道路の見通しの悪い箇所等を再点検し、可能な対策を講じて頂ける事になりました。

公園整備について ●トイレの整備と 防犯対策

市内には、百六十の公園があります。トイレ設置の状況は、上尾丸山公園・上平公園・平塚公園・浅間台大公園などの近隣公園は、遠方から多くの来園者があり、長時間滞在することがあることから、全ての公園にトイレを設置しています。

街区公園等の身近な公園は、近くにお住まいの方のご利用を想定していることから、トイレの新設は基本的には考えていないとのこと

です。既存のトイレはその多くが、設置してから相当な年数が経過している関係で、老朽化が進み、いくら清掃しても「汚い・臭い・暗い」というイメージを払拭することが出来ない状況のようです。老朽化したトイレは、利用者にとって不便と不快感を与えるだけでなく、利用者が少なく「落書き・損壊・

汚損」などのイタズラも多くなり、維持管理経費の増大に繋がります。公園の管理については、地域振興公社に委託され、利用者の状況に応じて定期的な清掃を行っています。また、事務区やボランティア団体の皆様にもお願いしている場所もあります。

皆さんも公園トイレを綺麗に使うようお願いします。

●防犯カメラの設置については、場所の選定・モニターチェック・記録媒体の保管方法・膨大な設置箇所等の理由によって多額の設置費用の掛かることや、プライバシーの観点から、検討課題となりました。



綺麗な街区公園のトイレ

行財政問題について

平成二十五年度の 基本方針

【答弁要旨】

本市が抱える課題としては、全国の地方公共団体と同様に、生産年齢人口の減少に伴い市税の減収する中で、高齢者数の増加に伴う社会保障関係費の増加や公共施設及びインフラ資産の更新への対応という大きな課題があります。

とりわけ、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、当市の高齢化率は全国平均と比較して顕著となっています。

そのため、平成二十五年度予算編成には、これら諸課題を念頭に置きつつ、市民ニーズに対応するための事業を積極的に展開することが重要と考え、六分野に重点を置いて予算編成を行う

た。

一、東日本大震災で明らかになった課題の「防災・減災事業」で、災害時の緊急通信及び情報配信に係る事業を創設するほか、新たな課題の、通学路の安全対策を実施するなどの「安全・安心」のさらなる確保

二、いじめ問題を根絶するための事業やすべての普通教室にエアコンが整備されたことも踏まえ、より充実した教育活動を展開していくために夏季休業日を五日間短縮し、年間授業日数を増加させるなどの「子どもたちを守り、育てる」

三、行政が積極的に健康づくりを支援していくことが重要であると考え、その一環として、高齢者施策の現金給付からソフト事業への移行を図り、敬老祝金の支給対象等を見直しを行うこと、新たに肺炎球菌ワクチ

ン予防接種費用の助成や見守り訪問ボランティア事業を実施、民間の活力を活用し、配食サービスの内容を大幅に拡充するなどの「いきいき元氣・健康づくり」

四、自転車レーンの設置など自転車道のまちづくりを指した事業や、市内中小零細企業の支援を図りつつ、省エネルギーを推進する省エネ住宅改修への助成制度を創設するなどの「快適でエコなまちづくり」

五、商・工・農・親の連携を図り市内産業の活性化を目的とした上尾市産業振興ビジョンの策定や、市制施行五十五周年を記念した各種イベントを実施するなど「賑わいあるまちづくり」

六、今後直面する公共施設の更新問題に対処するべく公共施設マネジメントの推進や土地開発公社の経営健全化を図るため用地の買戻しを行うなどの「行革の推進・財政基盤の強化」です。

公共交通について

上尾市のコミュニティバス「ぐるっとくん」は昨年十二月十日一部の小規模なルートの延伸や短縮、バス停の増設や移動を行ったほか、時刻表の見直しも実施しました。

しかし、多くの方からの陳情書や要望等、様々なお話を頂く中で、現在の体系を維持し、延伸・増便を続けることが困難になってきました。

そこで来年度、関東運輸局・警察等の関係機関、バスの事業者や学識経験者等の専門家を始め市民の代表を交えた協議会を組織し、あらゆる観点から市内公共交通の現状と課題を分析し、上尾市の持続可能な総合交通体系を構築するため「総合交通基本計画」の策定を予定しています。

ランニングコストと収支バランスは、平成二十三年度決算で、ぐるっとくん運

行委託としてバス会社に支払った金額は、一億七百九十四万円で運行経費一億四千九百六十一万円から運営収入四千六百六十七万円を差し引いた額になっています。

収支バランスを考えると、現行運営百円を三百四十円にすれば計算上は黒字化できますが、高齢者や親子連れなど交通弱者の足としての福祉的な役割も担っておりますので、収支均衡は目的としていません。

現在、赤字幅の縮減を図るために、広告料収入の拡充に取り組んでおります。車内広告の他にバス停の時刻表部分を大きくし、企業広告の拡大を行う予定です。



ぐるっとくん